

## 成績公報に掲載する制裁等について（平成19年度）

本項では成績本編では掲載できなかった制裁（地方競馬指定交流競走での制裁・競走外での制裁等）について掲載しております。また、騎手・競走馬毎に項目を分けてそれぞれ時系列順に並べております。

### 【 騎手に関する制裁 】

〔 制裁 〕 騎手大庭和弥は、平成19年5月4日（金）の調整ルーム入室について、騎手としての注意義務を怠ったことが判明したため、平成19年5月12日（土）から平成19年5月13日（日）まで騎乗停止。

〔 制裁 〕 騎手O.ペリエは、平成19年12月9日、香港シャティン競馬場で行われた第5競走第14回香港ヴァーズにおいて「ドクターデイノ」号に騎乗したところ、残り300m付近で外側に斜行し、他馬の進路に影響を与えたことについて平成19年12月10日から平成19年12月19日まで騎乗停止。

### 【 競走馬に関する制裁 】

〔馬の出走停止・調教再審査〕 平成19年度千葉県競馬組合営第1回船橋競馬第2日第8競走（平成19年4月3日）に出走した「ガオウ」号は、最後の直線走路で外側に逃避（外方に逸走し落馬競走中止）したことについて平成19年5月3日まで出走停止。停止期間満了後に平地調教再審査。

〔 調教再審査 〕 平成19年度石川県金沢競馬組合営第2回金沢競馬第2日第9競走（平成19年4月16日）に出走した「ホウキボシ」号は、枠内での駐立が不良であったことについて発走調教再審査。

〔 調教再審査 〕 平成19年度岐阜県地方競馬組合営第2回笠松競馬第3日第9競走（平成19年4月25日）に出走した「スキッターザアップ」号は、枠入が不良であったことについて発走調教再審査。

〔馬の出走停止・調教再審査〕

第2回東京競馬第6日第8競走に出走した「ダイワブレード」号は、発走合図後に発馬機内で膠着し、競走を中止したため裁定委員会の議定により平成19年5月7日から平成19年8月6日まで出走停止。なお、停止期間満了後に開催場で発走調教再審査。

〔馬の出走停止・調教再審査〕

第4回東京競馬第1日第6競走に出走した「ダイワブレード」号は、発走合図後に発馬機内で膠着し、競走を中止したため裁定委員会の議定により平成19年10月7日から平成20年2月6日まで出走停止。なお、停止期間満了後に開催場で発走調教再審査。

〔馬の出走停止・調教再審査〕

第5回京都競馬第5日第12競走に出走した「トウカイブラボー」号は、発走合図後に発馬機内で膠着し、競走を中止したため裁定委員会の議定により平成19年11月28日から平成20年2月7日まで出走停止。なお、停止期間満了後に開催場で発走調教再審査。